



悠久会 埼玉支部 会報

新潟大学 工学部 同窓会

(第16号)

発行：悠久会 埼玉支部

発行者：支部長 田島富二夫 (子43)

編集者：副支部長 鯨井 和幸 (電47)

発行日：平成26年5月3日

悠久会 埼玉支部 総会(第20回)のご案内

拝啓 新緑の候、支部会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

最近、気温や天候の変化が急になってきているなど感じます。この春も急に暖かくなってきて…春だから当たり前ですが、これも地球温暖化の影響なのでしょうか。ということで…

平成26年度の悠久会埼玉支部総会を、下記のとおりご案内いたします。当日は、母校・本部ならびに近隣支部から、多数のご来賓をお招きいたします。ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

尚、準備の都合上、5月20日(火)までに到着しますよう、同封の葉書にてご出欠のご連絡を頂きたくお願いいたします。

敬具

記

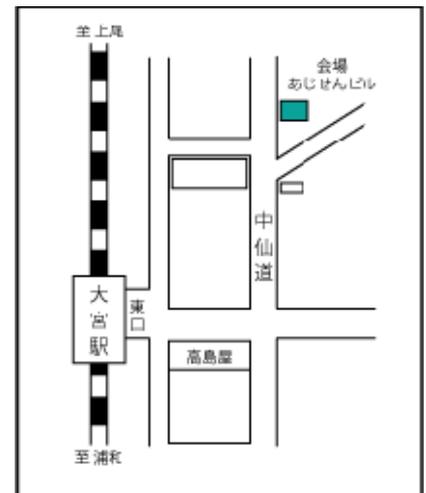
1、日時 平成26年6月14日(土) 11:00~16:00
(… 例年より、1週間ほど遅くなっています。)

2、会場 東晶大飯店
住所 さいたま市大宮区宮町2-28 あじせんビル3F
電話 048-644-0881
交通 大宮駅(新幹線・高崎線・宇都宮線・埼京線 等)
東口より徒歩5分

3、式次第
第I部 総会 11:00~12:45
母校・本部近況紹介 他
講演会 (12:00~12:45)
「川の本質と治水のあり方…利根川を事例に」
… 新潟大学工学部名誉教授
大熊 孝 氏

第II部 懇親会 13:00~16:00
(… 二次会、あります。)

4、会費 8,000円
(但し、学部卒業後5年未満の方は、ご招待とさせていただきます。)



尚、返信用葉書にはメールアドレスの欄がありますが、勤務先/ご自宅とも支部からのご案内を差上げても支障の無いアドレスをお書きください。(両方でもかまいません)
ご返信の宛先は、埼玉支部・副支部長(事務局長) 大友 眞(機52)宛てとなります。

支部年会費 納入のお願い

埼玉支部の年会費は2,000円です。支部総会案内や会報の作成・印刷他、連絡費用等の活動資金です。同封の郵便振替用紙をご利用ください(通常払込料金無料)。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証としてぜひご納入いただきますようお願いいたします。

楽しい同窓会活動をめざして

埼玉支部長

田島 富二夫 (子 43)

時代が移り変わり、世の中が変わり学生気質も変わってきている今日ですが、同窓会活動を行って行く上で変わらないものがある。それは誰もが新潟大学卒業生であること。悠久会の場合には誰もが新潟大学工学部の卒業生であるということです。その一点で集まっているのが同窓会と言うことです。同窓会活動をより充実させていく上でクラス会のもつ意味は大変大きな意味があると思います。4年間同じクラスで共に学び、苦楽を共にしてきたことはどこかで心の結び付きを強める人生の体験となっていることでしょう。

また卒業して社会人となるとそこで出会う大学の先輩の存在も大変有り難いところがあります。同じ大学を出たと言うことから親しみを感じて職場でも叱咤激励し合う先輩後輩の関係となって行くケースも多々見受けられます。このような関係が同窓会の持つ大切なところであり、社会生活を送って行く上で大きな助けになる場合もあると思います。同じキャンパスで4年間を共にしたことの経験は利害に関係なく有意義な人間関係を築く基になっているといえます。

しかし最近の世間情勢はこのような人間関係を培っていく環境が壊されてきていると危惧せざるを得ない状況です。グローバル化が叫ばれたり、転職が奨励される様な昨今では折角職場を共にしてもすぐに離れ離れになることもあります。更には様々な精神的なストレスが重くのし掛かり同窓会どころではないと言う状況の方もいると思われまます。企業繁栄して国滅ぶようなことがない事を祈りたいところです。

私達が大学を卒業するころは就職活動で深刻に心配をするということにはなかった。しかし、最近では卒業生の就職率が取りざたされるような世の中になって来ており、大学院への進学率が7割にもなると言われています。院卒であっても進路に安定的な保証があるとも言えないようです。一つの職場で定年までということが困難になってきつつあるように思えます。

このような昨今の世間情勢を見るとますます同窓会活動が大切な存在になって来るように思われてなりません。新潟大学卒業生であるということ、又は新潟大学工学部の卒業生であるということを大いに意識して人生を楽しむ大切な場としての同窓会活動を目指す事が求められてきているとも言えそうです。

また、同窓会活動を行って行く上で学内常任理事の先生方の果たしている役割も極めて大きなものがあるといえます。本学の同窓会で全国に支部を持ち支部の持ち回りで全国総会を開催しているという学部同窓会は悠久会だけではないでしょうか。同窓会活動を全国規模で継続的に活動を展開して行く上で学内常任理事の先生方の果たしている役割無くして同窓会活動を語れないという一面もあるかと思えます。学内常任理事の先生の力と支部の活動が一体不二のものとして悠久会は成り立っているのではないのでしょうか。一部に学部同窓会不要論を唱えている同窓生も見受けられますが、学部同窓会を基礎にして全学同窓会の発展も期待できるのだらうと思えます。学部同窓会間の交流は同窓会を発展させていく上で大変大切な活動でしょう。時には悠久会全国総会時には他学部の同窓会を来賓として招いて交流を図る事も必要ではないかと思えます。

更に同窓会活動にとって関東圏・首都圏というブロックの交流や活動も同窓会活動を発展させていく上で大変貴重なものとなって行くでしょう。それは近畿圏での活動もおなじでしょう。新潟圏、首都圏、近畿圏は同窓会の3大エリアとも言えるでしょう。この分野での創意工夫した活動が今後の同窓会の帰趨を決めるともいえるでしょう。

工学部の現状と課題(就任の挨拶に代えて)

新潟大学工学部長

田邊 裕治 (院機 56)



青葉が目眩しいこの頃、悠久会の諸姉諸兄の皆様にはますますご活躍、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃、工学部に対して多大なるご支援、ならびに温かい励ましのお言葉をいただき大変ありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

この度、前任の金子双男先生の後を受けて、2月1日より工学部長の大任を仰せつかりました。また、同時に工学部同窓会「悠久会」の名誉会長に就任させていただきましたこと、誠に光栄に存じます。私の略歴はこの春に発行されました悠久会時報第125号の就任の挨拶で述べさせていただきましたので、ここでは省略させていただきますと思います。

工学部の教育と研究の現状、そして課題について、私見を交えつつ述べたいと思います。

工学部の教育は「エンジニアリングデザイン能力の涵養」を基本と考えて行われています。「デザイン」能力の解釈はなかなか難しいものですが、「解決すべき問題を認識でき、ある制約条件の下で、科学と技術に関する知識を総動員してその問題の解決の道を探り、実際に解決できる」能力であると JABEE(日本技術者教育認定機構)の観点からはそのように言えると思います。また、工学部では「学ぶ力」と「つくる力」がバランス良く統合されたものを「工学力(こうがくりょく)」と呼び、「工学力=デザイン能力」と位置づけて、その育成に努めてきました。その中心的役割を工学部附属工学力教育センターが担い、新しいデザイン教育を展開しています。具体的なものとして、平成24年度文部科学省採択事業のキーワードとなっている「スマート・ドミトリー」があり、これは学科や学年の異なる学生(近い将来は異なる学部)の学生も参加することが望まれます)により構成される研究プロジェクトを指し、1年生後半からそのプロジェクトチームに参加して研究活動に従事できる、ということに特徴があります。まさに学問の府たる大学の姿や原点がそこにあると思っています。「科学技術」ではなく「科学」と「技術」に対する見識や、工学も科学であるという認識を醸成することが(言わば学問の原点に立ち戻る)、教育においてはやはり重要ではないかと考える次第です。「スマート・ドミトリー」の目に見える成果の一例として、文部科学省が主催する学生による自主研究の祭典「第3回サイエンス・インカレ」(平成26年3月)における奨励賞(DERUKUI賞)受賞があります。

工学部の研究に係わることとしては、平成25年11月に文部科学省から「工学分野のミッションの再定義」が公表されたことがあげられます(平成26年4月には全分野のミッションの再定義が公表されました)。そこでは、国立大学工学系学部が三つのグループに分類され、新潟大学工学部は「個別の分野に高い研究実績や特色を有する」という第Ⅲグループに入っており、複合材料/新エネルギー材料開発/先端情報通信工学がその特色ある分野となっています。しかしながら、第Ⅰ、Ⅱグループの大学に対する評価は「研究の質や量が世界的水準にある」となっており、正直、第Ⅲグループは大きく水をあけられた感が否めません。今回のミッションの再定義では SCI(Science Citation Index)論文の数量が根拠データとして使われており、研究成果を英文論文として確実に公表して行くことが重要であるとあらためて認識された次第です。研究の担い手は若手の助教クラスの教員と大学院博士課程の学生であることは論を俟たないと思います。工学部では学部学生の修士課程への進学率が7割弱であるのに対して、博士課程進学志願者数は複数回の募集を呼びかけても定員に遠く及ばない現実があり、この問題を早急に解決する必要に迫られています。魅力ある研究テーマ、それを黙々と挑戦し続ける魅力ある教授陣、研究環境の整備・充実とそのため資金、これらが必要不可欠な要素であると考えます。新潟大学は総合大学であるという自負があるのであれば、真に総合大学としての真価を發揮できるような仕組み作り、特に大学院での魅力ある教育プログラム作りが重要ではないかと考える次第です。全くの私見ながら、医歯学系、文系、自然科学系の全大学院が連携して学内連携大学院を構成し、学際色を強み・特徴とする共通の専攻を作ってみてはどうだろうかと思っております。

最後に次の言葉をもって教育と研究の係わりを述べ、本稿を締めくくりたいと思います。

The Parity of Esteem between “Research, Research and more Research” and “Education”.

新潟大学の社会連携活動について

新潟大学理事(社会連携・財務担当)・副学長

金子 双男 (子 47)



高橋姿新潟大学長の命により、私こと平成26年1月31日に工学部長の職を辞任し2月1日より新潟大学理事(社会連携・財務担当)・副学長に就任にしましたことをご報告致します。

工学部長は10ヶ月の短期間ではありましたが、その間に卒業生のご支援ご協力により工学部創立90周年事業を実施することができました。心より感謝する次第です。

また、日本工学教育協会の年次大会の新潟大学での開催、工学部外部諮問会議の開催、グローバル化に関わる日中韓5大学の国際コンソーシアムによる国際シンポジウム Fusion Tech 2014 を韓国ソウルで開催することもできました。

次期学部長には田邊裕治教授が就任されました。今後とも工学部の教育研究の高度化・発展のために皆様のご支援ご協力をお願いする次第です。

2月より担当しています新潟大学産学地域連携推進機構及び学術情報基盤機構の事業や活動についてご紹介いたします。

これらは、仙石正和前理事・副学長や西村伸也前副学長が担当されていた分野です。産学地域連携推進機構では、産学地域連携事業に加えて人材育成事業、知的財産の発掘維持活用事業などが含まれています。産学連携推進機構に関わる大きな話題の一つは、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム」のサテライトに平成25年10月「生体液バイオマーカーセンター」として採択されたことです。これは医歯学総合研究科附属腎研究施設の山本 格教授を中心に工学系では超域学術院の馬場暁准教授も研究メンバーに含まれており、26年度から本格的に研究が推進される計画です。また、新潟市などに協力し「地域イノベーション戦略推進地域」に新潟市が選定されました。今後文部科学省などによる支援によって地域の産官学金が連携し NIIGATA SKYPROJECT に関わる事業を推進する計画です。

学術情報基盤機構では、附属図書館・ライブラリーホールや情報基盤センターも担当となっています。特に平成25年4月にリニューアルオープンした。附属図書館・ライブラリーホールは好評で、利用者が多く平成26年4月18日に来館者が100万人に達しました。

この数は全国の国立大学図書館でもトップを争うものです。

機会がありましたら是非ご来館ください。

簡単ですが、新潟大学の社会連携に関わることをいくつか紹介させていただきます。

新潟大学への悠久会埼玉支部の皆様のご支援ご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



リニューアルした新潟大学附属図書館

「同窓会活動活性化への取り組み」

新潟大学大学院自然科学研究科 教授

鈴木孝昌（子57）

昨年度末、学長をはじめとする大学執行部の体制が一新し、これまで同窓会のかじ取りをされていた先生方が大学の管理運営を行う側に移られました。これに伴い、本年度より工学部同窓会本部の取りまとめを担当することになりました。また、同窓会本部の体制も一部変わり、「庶務・名簿・全国総会・卒業祝賀会担当：阿部和久先生(土58)」、「庶務・時報担当：坪井望先生(子59)」、「会計・奨学金担当：堀潤一先生(情報61)」となっております。

大学内部では若手の同窓教員の数が年々減少してきており、将来に向けた同窓会活動の活性化のためには、長期的な展望に立った本部の運営体制見直しも検討すべき時期に来ていると感じておりますが、しばらくは上記の体制で運営を引き継いでいきたいと考えております。

さて、全国理事会等でも再三ご議論いただいているところですが、昨今では、若い会員の方の同窓会離れが深刻となり、支部の活動にも影響が出ております。本部といたしましては将来の同窓会活動の担い手となる在学生への支援拡充に努め、同窓会活動の活性化に向けたさまざまな施策を実施中です。

たとえば、奨学金の一部給付、学生独自の活動に対する助成金の支給、新入生の歓迎会を兼ねた同窓会の説明会(お菓子・クリアファイルの進呈)、などは、ここ数年の間に新たに始めた事業です。また写真は、今年3月に行われた卒業祝賀会の様子です。毎年新潟支部の皆様の全面的なご協力のもと開催させていただいておりますが、ここでも卒業式会場から祝賀会会場までの移動にバスを手配したり、祝賀会の進行の効率化を図ったりしながら卒業生に満足してもらえる工夫を行っています。

さらに、これまで学生として在籍していながら同窓会とのつながりが疎遠となっていた大学院生への働きかけをいかに強めて行くか真剣な議論を重ねている最中でもあります。こうした地道な努力が、母校を懐かしみ、同窓会を振り向いてくれるような、また同窓会のよき理解者・協力者として同窓会活動にかかわってくれるような卒業生を一人でも多く増やすきっかけになるものと思っています。

「参加して楽しい」、「参加してよかった」と思える同窓活動を目指し、本部の運営を行っていく所存です。

悠久会ならびに支部活動の活性化のため、会員の皆様方のご協力を是非ともお願い申し上げます。



「ふれあい・さいたまウォーキング」活動報告

埼玉支部 副支部長
出井 道夫 (機 52)

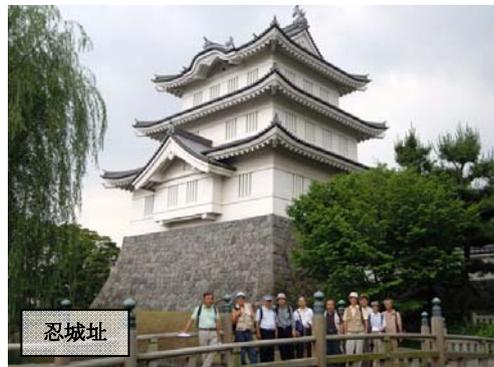
埼玉支部の恒例行事「ふれあい・さいたまウォーキング」の活動を報告致します。
歩いて訪ねる埼玉再発見の旅を続けています。平成25年度は、4回のウォーキングを行いました。

第40回 さきたま古墳と古代蓮の里(行田)を訪ねる旅

期日:平成25年6月15日

梅雨空の蒸し暑い日でしたが、さきたま古墳、古代蓮の里から、忍城を訪ねる旅に14名が参加しました。

行田は多くの史跡・文化財を持ち、歴史ロマンが漂う城下町です。さきたま古墳は、埼玉の県名発祥の地となりました。古代蓮の里では1000年以上も前の種子が、自然発芽・開花しました。見どころが多く、時間を費やしたため、最後の目的地の忍城では、資料館がすでに閉館時間でした。



忍城址

第41回 玉川上水(小平グリーンロード)を訪ねる旅

期日:平成25年9月28日

第41回は都内を訪ねました。一昨年歩いた野火止用水の上流、玉川上水の緑道です。参加者は、6名でした。

玉川上水は、江戸時代に開削された江戸の六上水のひとつです。小平グリーンロードは全長21kmにもなりますが、その約半分が玉川上水です。途中、「ふれあい下水道館」(下水道資料館)や「江戸東京たてもの園」(小金井公園)を見学しました。



江戸東京たてもの園

第42回 長瀬の岩畳と紅葉を訪ねる旅

期日:平成25年11月23日

晩秋の長瀬を11名で訪ねました。

岩畳から対岸の紅葉スポット「長瀬自然の道」を歩きました。天気にも恵まれ、紅葉が堪能できました。

また、長瀬は岩石の宝庫で日本の地質学発祥の地だそうです。「県立自然の博物館」は、岩石の博物館でした。ボランティアさんから、岩石について色々な、説明を聞くことができました。



県立自然の博物館付近

第43回 久喜の史跡と鷺宮神社を訪ねる旅

期日:平成26年3月22日

久喜駅から市内の史跡を巡り、葛西用水路に沿って鷺宮神社までのウォーキングに、12名が参加しました。

天気は快晴でしたが、北風が強い日でした。

葛西用水路は、江戸時代の灌漑用水で見沼代用水とともに、日本三大用水のひとつのこと。また、鷺宮神社は関東最古の大社と言われています。コース途中では、ハクレンに梅や早咲きの桜も見られました。



久喜駅前

***** 支部・編集子からのお知らせ *****

※ 今年の全国総会は、茨城です。

『黄門さまのふるさと水戸・茨城総会』

…7月19日(土)～20日(日) 水戸市

講演会及び総会・懇親会とも ホテル テラス ザ ガーデン水戸
日立支部・鹿島支部の共催で開催されます。

詳しくは、悠久会時報・第125号をご覧ください。

※ 来年以降の全国総会開催地は、以下の予定です。

- ・平成27年 京滋
- ・平成28年 千葉
- ・平成29年 栃木
- ・平成30年 東京
- ・平成31年 群馬
- ・平成33年 埼玉

※ 今年から学部卒業後5年未満の方は、支部総会にご招待とさせていただきます。

7年後には、みたび埼玉での全国総会が開催されます。

若い世代の方にも大勢お手伝いいただき、盛りあがった総会にしていきたいと思えます。

埼玉支部の合言葉は『楽しくなくちゃ、同窓会じゃない!。』です。

支部総会にも、奮ってご参加下さい。

※ お忙しい中、原稿を寄せて頂きました 金子先生・田邊先生・鈴木先生 ありがとうございます。
さらなるご活躍を、埼玉支部一同、ご祈念申し上げます。

※ 昨年度(第19回)埼玉支部総会 集合写真です。



6月14日(土) AM11:00 「東晶大飯店」で、お待ちしております。